

【第2回(前回)行政改革推進委員会での議論】

● 論点

対象施設	再編前	再編後		数値目標
	【A】 2015年 延床面積 (㎡)	【B】 2055年延床 面積 (㎡)	【C】 (B-A)/A 増減率	
再編方針対象施設 (※対象施設:454施設)	786,111.47	744,519.58	-5.29%	-13%
基本方針編対象施設 (※対象施設:442施設)	786,111.47	733,854.13	-6.65%	-13%

「基本方針編」で定めた今後40年間の縮減目標13%に対し、現時点での個別施設再編方針(案)に基づく再編後の縮減率は、施設全体で5.29%であり、約7.71ポイントの縮減が不足している状況である。



削減目標達成に向けどのような縮減方策が考えられるか。

● 委員の皆様からの主な意見

- ・学校など面積が大きい施設について、削減目安の達成に向けた方策を検討することが重要である。
- ・コミュニティの中心で、かつ歩いていける学校を地域の核として、近隣センターなど他の機能との複合化を検討してはどうか。
- ・学校との複合化にあたっては、効率化だけでなく、児童生徒とお年寄りの交流など他のメリットも考慮すべき。
- ・こどもルームについては、全ての施設を小学校へ複合化してもよいのでは。
- ・行政が施設を整備して持つことを前提にせず、民間事業者が管理運営だけでなく施設整備も含めて行うことを推進してはどうか。民間施設の活用を検討してはどうか。

・今回の意見を考慮の上、方策を検討し、削減目標である13%に近づけるべきである。

・学校への複合化、民営化など考えられる方策を仮に実施した場合のシミュレーションを実施し、13%達成するための案として示してはどうか。

【第3回(本日)行政改革推進委員会の内容】

● 目的

個別施設再編方針素案の確定(市民説明会で提示する素案の確定)

● 論点

- ①前回の意見・議論を踏まえ、数値目標達成に向けた方策として挙げた内容は妥当であるか。
- ②シミュレーションの内容・結果は妥当であるか。

